

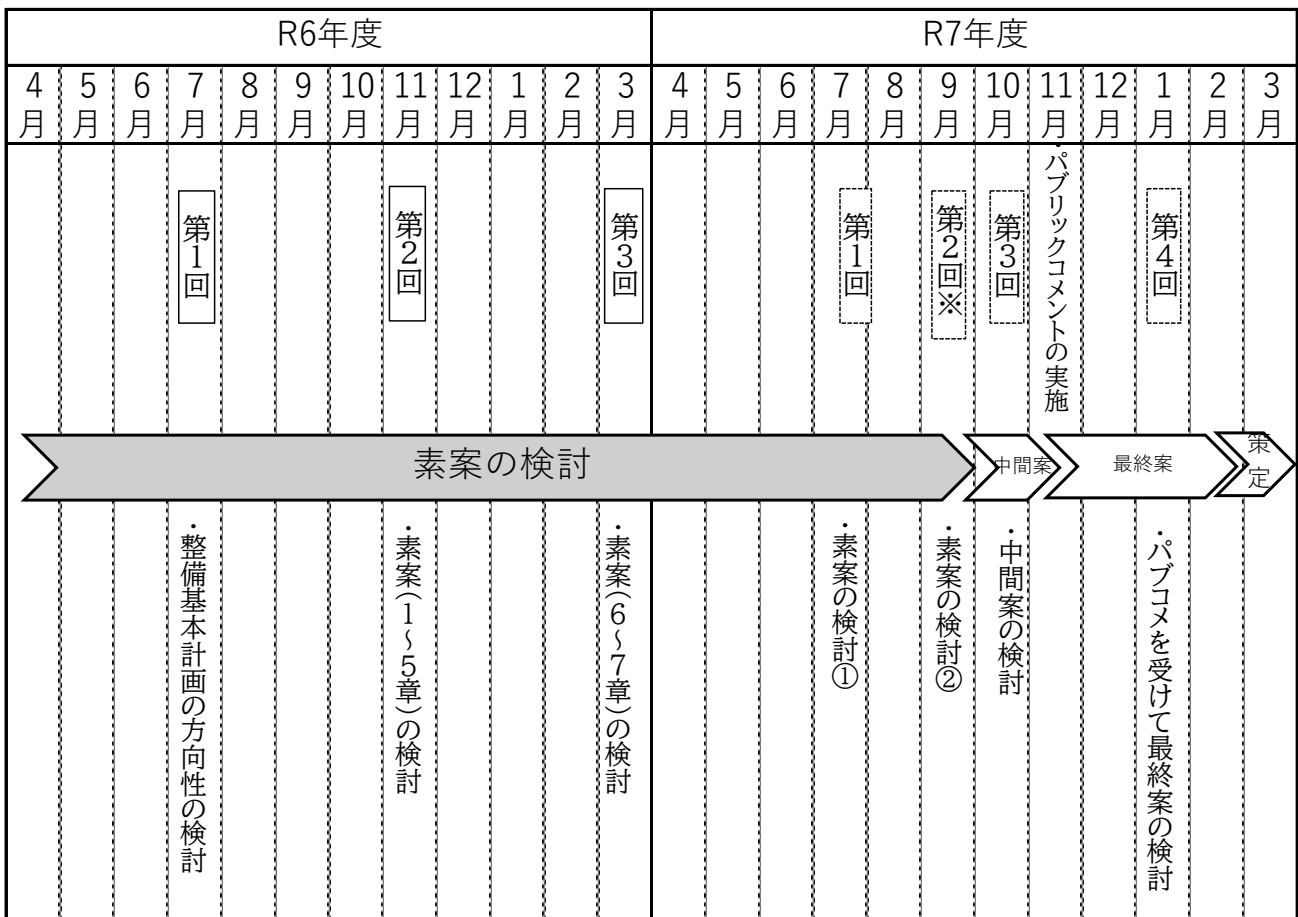
●前回の委員会における主なご意見及び対応一覧

No.	ご意見	対応
1	郡山遺跡だけを(来訪の)目的にするにはまだまだちょっとハードルが高い気がする。(遺跡が)コミュニティとして現代でも生きているよというのは、やっぱり現代の人が日常生活ライフスタイルの中で利用してもらおうというのが一番だと思う。利用の枠を広げるとか、本当に町の中で使われている、(中略)ママと子どもたちの何とかならばこの場所を必ず使うとか。(中略)ライフスタイルの中に入れて考えるという方向性もあるのかなと思った。	地域の皆様のニーズを伺い、史跡整備の参考とするため、本年7月、郡山地区連合町内会及び東長町小学校 PTA 役員への意見聴取を実施し、概要を追記しました(第1章・1-3 頁)。今後も市民の皆様のご意見を伺いながら、市民に愛され、親しまれる史跡整備を目指してまいります。
2	ガイダンス施設に関して、設置場所との問題であるとか、もう少し具体的なイメージについて何とか書けないものか。	・政庁の立体的表示(第6章・6-16 頁)については、あずまやに断定する書きぶりではなく、「あずまややパーゴラなどの休息施設(便益施設)としての機能を持たせた方法とします」との記載に改めました。
3	政庁の立体的表示やガイダンス施設の整備は、どのように(整備)できるか若干の不安もあるため、計画の段階では幅を持たせた表現にしても良いのでは。	・ガイダンス施設の整備(第6章・6-24 頁)については、既存の郡山中学校ピロティを改修してガイダンスに位置付けるとの方針を明確化する記載に改めました。なお、具体的な整備内容については、現在関係部局と調整中のため、表現方法も含め、今後の委員会で改めて提示します。
4	遺構の整備や持続的な管理・運営の中で市民に参加していただくという話で、継続的に協力してもらおうための、市民参加の仕掛けをどう作っていくか。もう少し具体的に詰める必要があるかと思った。	公開・活用の計画(第6章・6-26～29 頁)について、項目名だけの記載だったものに、具体的な取り組みを追記しました。
5	ハードについては計画が(かなり細かく)具体的に書かれているが、ソフトの面(の具体性)が薄い気がした。	
6	X、HP、現地での QR コードの設置等、情報発信の方法を整備するだけでも、市民が史跡を理解するのにつながるのでは。	本年7月、文化財課 HP に郡山遺跡のページを新たに追加しました。今後は整備と並行しながら、整備状況や最新の発掘調査の成果等の情報を HP 内に充実させていきながら、現地の説明板と QR コードで紐付けたり X で発信するなどの情報発信を行ってまいります。

●その他、前回素案からの追記

- ・第2章－現状についての説明・図の追加
- ・第3章－現状地図とⅠ期官衙・Ⅱ期官衙の主要遺構配置(推定含む)を重ねた図を追加。
- ・第4章－前回(案)は整備と直結する課題のみを抽出していたため、改めて史跡を取り巻く現状(情報)を網羅的に整理する構成に修正。
- ・第6章－「1全体計画(2)整備対象とする官衙の時期設定について」を追記。
図の追加。

●整備基本計画の策定スケジュール



※R7年度第2回は9月中旬頃に書面開催を予定。